

2017年 冬号

第96号

僧伽編集委員会

〒921-8031
金沢市野町2丁目32-4
徳法寺内
TEL (076) 241-5219
題字 本多 千翠

僧伽

真実信心海に帰入しぬれば、
衆水の海にいりて、
ひとつあじわいとる

『尊号真像銘文』



『尊号真像銘文』：親鸞聖人が、ご門徒に渡された名号や仏語に書き加えた解説文を集めたもの。

思いから現実へ

徳法寺杉谷 浄

上の写真は、若かりしときの私です。場所は、南米のエクアドルでたまたま立ち寄った小さな町です。

この国にも、日系移民の村がいくつかあるのですが、ほとんどの人は日本人と会ったことがありません。それでも映画や電気製品を通して日本人のイメージは持っています。ですから、一人でふらっと現れた見ず知らずの日本人の周りに、興味津々な子供たちが集まってくるのです。

「空手はできるのか」
「ラジオをなおせるか」
「水の上を走れるのか」など、様々な質問攻めにあります。残念ながら、私は空手ができませんし、ラジオをなおせませんし、水の上も走れません。子供たちは、少しがっかりしますが、それでも、自分たちの自慢の場所を案内してくれたり、家に招待してくれたりして、特に何の目的もなく旅をしている私の遊び相手になつてくれます。彼らも、私との出会いで、

空想世界の日本人から、自分たちと同じ人間としての日本人へと認識が変わっていきます。

最近、イスラム教徒や、同性愛などの性的少数者がメディアに取り上げられることが増えてきました。そこから得られた情報をもとに、様々なイメージを持たれていると思います。しかし、そのイメージは、南米の子供たちが思っていた日本人のように、現実とは違っているかもしれません。実際に会ってみると、多少の違いこそあれ、基本的には同じ人間なのだと思えます。よく見れば、どれだけ似ているかと、みんなどこか違っているものではない違いは、どうしても拡大解釈してしまいがちです。

仏教は、自分の持っている固定概念を破ることで心を柔らかくすることを勧めています。好き嫌いとはあつたとしても、様々な価値観との出会いが、より広い世界へと自分を導いてくれるのです。

宇波請治



請さんの料理小話

季(とき)の移ろひは、早ふございます。春、大地の恵みは沈(しん)丁(ちやう)花(か)の灰(はい)かなかほりから始まり、秋、里山の恵みは、金木犀の芳醇な、かほりがメッセージになります。海に目を移せば、お彼岸過ぎあたりから、少しずつ潮目が変わるのは古からの倣ひです。

夏には、暑さのために、体調が思わしくなる方も多のではななでせうか。体調を整へる一品に『お粥(かゆ)』が適してゐることは、云ふを俣(ま)たなる。

この時、ご自分で出汁を取って、本葛(か)餡(あん)を作ってみ

ては如何でせう。粥の上に、葛(か)餡(あん)をのせてすゝると身体が落ち着きます。

※昆布の戻し方は、水一リットルに昆布一〇センチ一枚。

鰹(かつお)出汁は沸騰したお湯に一割程の注し水をしたものに、鰹(かつお)節(ふし)を入れると、嫌味のない琥珀色の澄んだ鰹(かつお)出汁ができます。これは、お番茶(ばん茶)煎茶(煎茶)を、一服入れるのと同じ要領です。水三百八十ミリリットル(二二匁)に鰹(かつお)節(ふし)五グラムです。

秋ともなれば、お弁当持

参(ま)での紅葉狩りもまた楽しひ。シンプルな、出汁巻き玉子(たまご)などいかがでせうか。

※出汁巻き玉子の比率は、卵(たまご)三個に対して出汁(だし)一が基本。この時、卵(たまご)の量に沿った容量で作ってみるといゝでせう。茶碗蒸(ちawanjyou)は、これとは逆に、卵(たまご)一個に対して出汁(だし)が三の比率。

出汁(だし)巻き玉子の甘味は、卵(たまご)三個に対して砂糖(さとう)大匙一杯(十五グラムが目安)。

晩秋から初冬にかけて、温か(ぬ)いものを欲(ほ)するののまま、人の心理(こころ)です。ならば、美味(うまい)しひ煮物(に)などはいかがでせうか。出汁(だし)十四に対して、薄口(うすぐち)醤油(しょうゆ)一と酒(さけ)一です。これを煮詰(こ)めますが(中火(ちゆうか)の弱火(じやくか))、出汁(だし)が具材(かざい)の上に二、三割(わり)程(ほど)被(お)る状態(じょうたい)から、三割(わり)程(ほど)煮(に)含(こ)めます。

大根(だいこん)、里芋(さと芋)などの根菜類(こんさいるい)は、灰汁(あかじ)出し、下茹(した茹)します。厚揚げ(あつあげ)、練り物(ねりもの)、白滝(しろたけ)等(ら)も一度(いちど)下茹(した茹)してからが約束(やくそく)

事です。鶏(とり)腿(もも)肉(にく)・手羽元(てうげん)は、一度湯通(ゆ)しするか、フライパンで表皮(ていひ)を焼(や)いてから。

近年(ここんねん)、料理(りょうり)の世界(せかい)もカラフルになり、和(わ)・洋(やう)・中(ちゆう)伊(い)・エスニック(エスニック)料理(りょうり)と、いとまがなるくらひバラエティー? これも、時代(じだい)の成(な)せることなればせんなきこと、理解(りかい)しつゝも、他方(たうほう)、調味料(たみりょう)や香辛料(かうしんりょう)なども、一頃(いっぽん)の時代(じだい)と異(こと)なり、豊富(とんぷ)に出揃(だ)つてをり、新たな時代(じだい)へ、味覚(あじ)の端境(たんけい)期(き)なのかも知(し)れません。亦(また)、若(わか)ひ世代(せだい)の、乳製品(にゅうせいひん)・ガリリック(ガリリック)など然(しか)り、少(すく)し、不粹(ふそい)な云(い)かたをすれば、料理(りょうり)が少々(せうせう)不得意(ふとくじ)の方(かた)でも、乳製品(にゅうせいひん)のバターやチーズ、大蒜(たいしん)を使(つか)へば、何方(なんぽう)でもそこそこの料理(りょうり)になるのも事実(じつじ)であります。

日本料理(にほんりょうり)は、季節(きせつ)毎(まい)の海(うみ)の幸(さい)、山(やま)の幸(さい)の恵(めぐみ)みであり、四季(しき)をりをりの素材(そざい)同士(どうし)が、互(たが)ひに補(お)ふといふ一見(いちけん)不合(ふあ)理(り)な側面(そくめん)があります。他方(たうほう)、日本(にほん)の等(ら)しひ共通(きょうこう)分母(ぶんぼ)である水(みづ)は軟水(なんずい)です。故(ゆ)に、ミネラル分(ミネラルぶん)が少(すく)なひから、昆

布(ふ)や鰹(かつお)節(ふし)(旨み)、味噌(みそ)で補(お)ふと云(い)ふ構図(こうず)です。亦(また)、日本(にほん)の、お醤油(しょうゆ)・お味噌(みそ)は発酵食品(はつこうしんひん)であることは、何方(なんぽう)さんも良くご存知(ごぞんじ)のとをりです。然(しか)しながら、醤油(しょうゆ)・味噌(みそ)は、塩味(しんみ) (ミネラル成分(成分)を含む)と、旨み成分(旨み成分)の両方(りやうほう)を兼ね備(かね)へてゐること、作り手側(て)は余(あ)り意識(いしき)してゐるひのではななでせうか? 日頃(ひごと)、自分(じぶん)は、日本(にほん)料理文化(りょうりぶんか)とは、不(ふ)便(べん)さなのかの、心地(こころ)よさにあると申(まを)し上げております。日々(ひび)、皆(みな)さまの食卓(しょくたく)に、いさゝかでもお役に立(た)れば倣(な)ります。

色取り月(いろとりつき)：割烹(かっぺい)・音羽屋(ねんわや)

了

プロフィール(略歴)
うなみ せいじ
一九四八年・七尾市生
料理人の渡世(わたりよ)へ(世界)
京都・大阪・博多・東京をへ
て、一九七五年独立開業。
現在に至る

和讃に学ぶ

第五十一回

徳法寺 杉谷 浄

死を迎える

親鸞聖人は聖徳太子を、日本のお釈迦様と仰がれるほど尊敬していらつしやいました。ですから、聖徳太子の徳をたたえる和讃が数多く残されています。この聖徳太子を称える和讃の中に、死期の近づいた聖徳太子の様子を伝えるものがあります。

まず、死の床にある聖徳太子の枕もとで、妻の菩提岐美郎女（ホキキミノイラツメ、四人いた妻の中で最も身分が低い橘氏の出身ですが、聖徳太子が一目惚れをしたと伝えられ、最も寵愛を受けていた后）がたずねます。
あしたゆふべに
いたるまで
つかえまつらむとぞ

おもふ
いかなるころか
いましてか

おわりのことをば
令旨ある

（一時も離れずあなたのそばでお仕えしようと思つていますが、今どのようなお考えになつていらつしやるのか、最後の言葉をお聞かせください）

これに対して聖徳太子が答えたのが次の和讃です。

太子こたへ
おはします
はじめあれば
おわりある
さだまれる
よのことわりを
ゆめゆめおどろき
おもわざれ

ひとたびはかならず
むまれしめ
ひとたびはかならず
しぬること
ひとのつねの
みちなれば
むかしもいまも
たえぬ也

（聖徳太子は答えられませんでした。始めがあるものには必ず終わりがあるのが、この世の決まりであるのだから、私が死ぬことも驚いてはいけません。ひとたび生まれられた者は必ず死ぬのが人の避けられない道であることは、昔も今も変わることはないのです）

この後、聖徳太子が日本に生まれられた意味などを語る和讃が続くのですが、ここまでの和讃は、あまりにも当たり前のことを言っているように思われるかも知れません。しかし、この当たり前のことが領けないのです。
賢者とは人の理解できないことが分かる人だという

のが一般的な理解です。しかし仏教では、当たり前前ことをありのままに領ける人を賢者と言います。逆に「いつの間にか齢をとつてしまった」とか「なぜ病気になるってしまったのだらう」という、当たり前前ことを領けないのが愚者です。聖徳太子は賢者です。では、親鸞聖人はというと愚者な分かつている」といいながらも、心の底では領けないのです。領けないのに、領いているふりをしてるのです。ですから、本当に領いている方に出会うと、頭が下がります。
聖徳太子の残された、この当たり前のような受け答えを、親鸞聖人がわざわざ和讃にして、ご門徒方に残されたのは、このような親鸞聖人の心のうちを伝えたくったからでしょう。

杉谷浄のラジオ案内

一月三日(火)
二月七日(火)
三月七日(火)
FM・N1(七十六・三MHz)で午後一時半から一時間放送します。
番組名は「生活一番シャトル便 住職のよもやま話」です。再放送は放送日の週の土曜朝七時からです。インターネットでも聞けます。

徳法寺のホームページのご案内

「僧伽」のバックナンバーや報恩講、春秋彼岸の案内、お講の案内、学習会のレジュメ、交流広場などを載せています。アドレスは
<http://tokuhou-ji.com/>
です。是非覗いてみてください。

真宗豆知識

懐石 (かいせき)

「懐石」というと、料理を思い浮かべる方が多いと思います。しかし元々の意味は、字の表す通り「懐に入れる石」です。

お釈迦様の頃から長い間、仏教の僧侶は正午前に二食取るだけで、午後から翌朝まで、水以外は口にさせませんでした。今でも東南アジアの僧侶はこれを守っています（もつとも、水の代わりに甘い炭酸飲料を大量に飲んでいますが）。中国や日本

した。

室町時代に広まった茶の湯では「薄茶」「濃茶」を喫する前に簡単な料理が提供されました。千利休の時代には、これを「会席」や「ふるまい」と呼んでいたようです。これが江戸時代になつて茶道として理論化されると、禅宗の僧侶が用いていた空腹を紛らわす「懐石」のような、しのぎ程度の軽い食事という意味で「会席」と同じ音の「懐石」と言うようになったといえます。ですから、「懐石」とは本来一汁三菜（もしくは二菜）程度の軽いものでした。更にこの三菜が「刺身（向付）」「煮物椀」「焼き物」と決められます。現在は、この後に「預け鉢」（あるいは「進め鉢」という炊き合わせなどの料理が出され、最後に「菓子」となります。この料理の合間に酒が振舞われます。「懐石」という言葉の中に料理も含まれているので「懐石料理」とは言いません。

では「会席料理」とい

うと、茶道とは関係なく料理やお酒を楽しみながらいただく料理ということになります。ですから、茶道のような特別な作法はありません。料理の量もしのぎ程度ではなく、十分に振舞われます。ただし、献立は「懐石」にならない一汁三菜が基本となります。これに酒の肴として「お通し」「揚げ物」「蒸し物」「和え物」「酢の物」などが添えられます。「懐石」と「会席料理」の違いは、御飯と汁が出される順番です。「懐石」では茶が目的なので最初に出されますが、お酒を楽しむことを目的とした「会席料理」では、最後に香の物を添えて出されます。本来、歌会などの宴席で出されていた「会席料理」が贅を尽くしたものであるのは今も昔も変わりませんが、しのぎ程度であつたはずの「懐石」が今のようになつたのは、客を迎える側の「おもてなし」の心を表すためであるとい

います。茶の湯そのものが日本仏教独特の感性である「わびさび」と深い関わりの中で生まれたことを考え合わせると「懐石」の意味を懐に抱きつつ召し上がってみてはいかがでしょうか。

(浄)



『心の相談室』

毎月第四土曜日
午後三時～五時
東別院横

「いちよう館」二階
相談無料

日常生活でのいろいろな悩み、家族のこと、友達のこと、学校のこと、仏事の疑問等を、僧侶がお聞きします。

『サンガ茶話会』

毎月第一木曜日
午後三時～五時
東別院真宗会館内
囲炉裏の間

お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと気楽にお話できる空間です。相談というほどではないにしろ、ちょっと聞いてみたい、いろんな人と話してみたいという方大歓迎です。もちろん無料です。お気軽にご参加ください。

映画の紹介

「シン・ゴジラ」

この夏、映画「シン・ゴジラ」が大ヒットした。九月上旬の時点で観客動員数は四百二十万人を超えたという。子供からお年寄りまで幅広い年齢層が楽しめる点が、興行的成功の原因といわれている。

私も久しぶりに映画館に足を運んだ。大画面の中で縦横無尽に暴れまわるゴジラの姿は、そのまま核エネルギーの恐ろしさを表しているようだ。まさにその映像は、東日本大震災の時の原発事故を想起させる。

今回のゴジラ映画の特徴は、ゴジラが途中で進化し姿を変えていくところにある。最初東京湾に姿を現した時、政府はその未確認生物が「水生生物」であるとの見解を出した。したがって、陸に上がることはない、上陸したとたんに死んでしまおうと発表するのである。

そこには、「不必要に国民の不安をあおるべきではない」という、お決まりの「国民への配慮」がはたらいっている。しかし予想に反して、ゴジラは陸上生物へと進化を遂げ、事態は一変する。そこではまた「想定外の事態」という、うんざりするほど聞き慣れた言葉が飛び交う。

「ゴジラ撃退」が、自衛隊の出勤要件に適合するかどうかの憲法議論の末、ようやく政府は自衛隊の出勤を決断する。しかし政治家たちは、その時点でゴジラを撃退した後の政局のことを考えはじめるのである。主人公の矢口蘭堂（内閣官房副長官）は、彼らの考えを「根拠のない楽観主義」と非難する。彼は、その「根拠のない楽観主義」こそが、日本を先の大戦に巻き込み、多くの犠牲者を出したのだと言っているのだ。

「根拠のない楽観主義」「国民への配慮」「想定外の事態」という三つの単語を

つなげてみると、今も昔も変わらない日本の政府の姿勢が浮かび上がってくる。この映画でも、この三つの繰り返しだが、緊急事態への対応をどんどん遅らせていく。そしてついに日米安保による米軍の出勤にまで事態は及んでいく。

この作品は、一九五四年に作られた初代ゴジラを強く意識したものであるといわれている。確かに核エネルギーの象徴である巨大生物ゴジラに、人類はどう立ち向かえばいいのかというテーマは共通している。しかしそのアプローチの仕方は、かなり違っていていると言わざるを得ない。

一九五四年度版は、科学技術は人間にとって善か悪かといった、文明批判の色彩が濃いものだった。それに對し今回のものは、そういういった哲学的問題は影を潜め、科学技術そのものよりも、むしろそれを扱う我々の社会の問題、すなわち政治の問題に焦点を当て

ている。つまり、科学技術の是非ではなく、それを扱う日本の政治の未熟さと制度的不備を描いているのである。
(彰)

平成二十九年
年忌法要の案内

- 一周忌 平成二十八年死亡
- 三回忌 平成二十七年死亡
- 七回忌 平成二十三年死亡
- 十三回忌 平成十七年死亡
- 十七回忌 平成十三年死亡
- 二十五回忌 平成五年死亡
- 三十三回忌 昭和六十年死亡
- 五十回忌 昭和四十三年死亡



本の紹介

『小説

フェルマーの

最終定理』

ひおきかにわ
日沖桜皮著

株式会社PHP研究所

私は、十三年前から、金沢市内の某私立高校の数学の非常勤講師を勤めている。ちようど今二学期の中間テストが終わり、採点を済ませたところである。いつも思うことだが、数学という教科は、嫌いな生徒にとつては、どうして?と思うほど嫌なものらしい。私自身は、結構面白いと思つて教えているつもりだが、どうもそれが生徒に伝わらない。そんな日々の中で、本棚にあつた『小説 フェルマーの最終定理』という本をふと手に取つた。本の帯にある「数学つて愛なんだ」という言葉が目

かな。」と思いながら、ページをめくつた。

思いのほか、それは恋愛小説だつた。それも、フェルマーの最終定理に関心を持った若い男女のである。

ここでフェルマーの最終定理についての解説は退屈なだけだろう。(と思つたが、興味のある方は、最後の解説をお読みいただきたい。)

後半部分で、主人公の恋人は言うのだ。「でも、中身はわからなくても、こんなに単純な問題に三世紀半も世界中の数学者が挑んできたという話は、公式一個覚え

るよりよっぽどおもしろいわよね」
確かにそうかもしれない。今の学校教育の現場では、すでに出来上がった理論なり公式を、何の疑いも持たずに覚え、応用することだけが要求される。そして、一般の学生が、数学の未解決問題に興味を持ち、研究するな

れた悦楽であろう。

だから私は、この話はファンタジーだと思う。冒頭の

部分にも、「このものがたりは、フィクションです。が、数学史に関する記述は、おお

かた事実に基づいていきます。」とある。このテキストさ

がいいのだろう。
この本のおかげで、少しは生徒たちに優しくなれそうな気がする。

フェルマーの最終定理

十七世紀のフランスの数学者ピエール・ド・フェルマー(一六〇一年〜一六六五年)が、予想した定理である。彼は、ある数学書の余白に、

「3以上の自然数 n について、 $X^n + Y^n = Z^n$ となる自然数の組 (X, Y, Z) は存在しない」というメモを書き込んだ。本人は、それを証明したと記しているがその証明はどこにも残っていない。
n が2のときは、直角三角形の三辺の長さについて成り立つ「三平方の定理」の式になる。これを満たす自然

数の解は、ピタゴラス数といわれている。その中でも、3、4、5という自然数解はよく知られている。ところが、

n が3以上の時には、このような自然数解は存在しないというのだ。

この定理は、フェルマーの大定理とも呼ばれる。また、長らく証明も反証もなされなかつたことからフェルマー予想とも称された。三六〇

年後の一九九五年二月十三日に、プリンストン大学の、アンドリュー・ワイルズによって完全に証明され、ワイルズの定理あるいはフェルマー・ワイルズの定理とも呼ばれるようになった。(彰)

◆徳法寺

金沢市野町

二丁目三二一四

☎二四一―五二一九

◎お講 (石坂同信会主催)

毎月二十一日

午後七時半より

講師 三月 杉谷 浄

四月 荒木 範夫

ご自由にご参加ください。

十二月、一月、二月はお

休みします。

◎春彼岸

河上真琴創作展

三月十七日(金)

二十三日(木)

◎春彼岸中日及び

永代経法要

三月二十日(祝)

午後二時より

講師 幸村 明

各寺のご案内

◆常德寺

金沢市寺町

五丁目一番二九号

☎二四一―二六四九

◎春彼岸法要

三月二十日(祝)

午後二時より

編集委員

西山 彰 (常德寺)

杉谷 浄 (徳法寺)

